

選択領域 8月6日(月) その1

☆主な受講対象者 幼:幼稚園教諭、小:小学校教諭、中:中学校教諭、高:高等学校教諭、特:特別支援学校教諭、養:全校園種の養護教諭

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
C-1	特別支援教育 I	6時間	教諭・養護教諭	幼・小・中・高・特・養	180名

テーマ：障害のある子どもの発達の理解

講師：白石 恵理子

障害のある子どもたちに対する教育において、一人ひとりの発達、障害、生活をふまえた理解が重要となる。本講習では、そのなかでも発達の理解とはどういうことか、とりわけ教育実践における意義や留意点について考える。さらに発達診断とは何か、発達診断が実践にどう寄与するのかも取り上げたい。

テーマ：障害のある子どもたちと学校生活

講師：羽山 裕子

通常学校で学ぶ障害のある子どもたちに、十分な教育を保障するためには、障害特性の把握だけではなく、それが学校という特殊な環境下でどのような困難につながるのか、教育内容の習得にどう影響するのかといった点を知る必要があります。本講習では、各自が日々の実践の中で気付いたことなども交流しながら、考えていきたいと思います。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
C-2	心と身体の健康 I	6時間	教諭・養護教諭	幼・小・中・高・特・養	100名

テーマ：子どもの生活習慣とその支援 ～誰がいつ何を伝えるべきか～

講師：股村 美里（びわこ成蹊スポーツ大学）

子どもの生活習慣が夜型となり睡眠時間が短くなっていることが指摘されて久しい。平成29年には「睡眠負債」という言葉が流行語大賞にもノミネートされ、生活リズムの形成維持に注目が集まっている。子どもの生活習慣、すなわち睡眠、食事、運動は心身の健康と深く関連する。社会的な要因や成長ホルモンによる生活リズムの変容と健康教育の関連を解説するとともに、子どもに、誰がいつ何を伝えるべきか、参加者全体で考え、共有する講座である。

テーマ：教師のためのストレスマネジメント

講師：多賀谷 智子（びわこ成蹊スポーツ大学）

学校におけるストレス・マネジメントがますます重要になってきている。心理学の立場からストレスや感情、行動がおこる仕組みを取り上げ、ストレスへの対処法など、現場で活用できる内容を紹介する。また、認知行動療法の基礎的な技法を習得することで、教員自身のメンタルヘルスの向上にも役立つと考える。ワークを取り入れ、体験していただく予定である。

当日は、リラクゼーション技法等のワークを行うため、軽い運動ができる服装が望ましい。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
C-3	授業実践の事例検討	6時間	教諭	小・中	30名

講師：堀江 伸

小学校・中学校の授業実践を取り上げて、事例として検討し、「学び」の質を追究するとともに、授業者に求められる実践力と見識を考察していく。特に、教材の検討と授業の事例検討をつづけることで、教材理解が授業実践のベースとなることを考察する。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
C-4	学校教育におけるエンジニアリング	6時間	教諭	幼・小・中・高・特	30名

テーマ：材料の加工とものづくり

講師：磯西 和夫

幼稚園から高等学校まで、いろいろな授業で種々の材料を使っていろいろな物づくりを行っています。金属、紙、プラスチック、木材など、これらの材料に形を与えて必要とする寸法の部品を製作し、さらに接合して目的とする作品（授業で用いる教具、美術作品、理科の実験道具、技術の作品など）を作ります。これらを作るために必要な知識について解説します。

テーマ：木材加工教育の充実

講師：岳野 公人

特に、中学校技術科に関わり木材加工における手工具（のこぎり、かんな、のみ）の使用法や木材の種類や特徴について確認するとともに、木材加工教育における学習者の認知過程にもとづく学習指導法について考察する。実習を伴う場合もあるので、作業できる服装を準備してください。

選択領域 8月6日(月) その2

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
C-5	家庭科 ー住生活と衣生活ー	6時間	教諭	幼・小	50名
<p>テーマ：住生活教育を考える</p> <p style="text-align: right;">講師：田中 宏子</p> <p>住まいは、ゆっくりとくつろいだり、思索したり、明日への活力を得たりするなどの場として質的な充実が求められます。併せて住まいは、雨や風、暑さ・寒さや様々な過酷な自然現象から人々を守る大切な側面ももっています。快適・安全な住生活を創るためには、子どもたちにどのような力を身に付けさせたらよいのでしょうか。本講習は、新学習指導要領が示す家庭科の住生活の内容を基本として、住生活教育が直面している課題を中心に考えます。</p>					
<p>テーマ：衣生活を考える</p> <p style="text-align: right;">講師：與倉 弘子</p> <p>被服は自然環境から私たちを守り、社会環境に対して自分らしさを示す役割を果たしています。心身ともに快適な被服を着装することで、健康・快適・安全で豊かな衣生活を創ることができるのです。本講習では、新学習指導要領における家庭科の衣生活の内容を基本として、乳幼児・高齢者などの被服や災害時の衣の備えなど、リスク対応型の衣生活教育について理解を深めます。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
C-6	深い学びとパフォーマンスを高める 体育指導の理論と実践	6時間	教諭	幼・小	30名
<p>テーマ：課題解決的なゲームの授業づくりと睡眠の大切さに気づく保健の授業づくり</p> <p style="text-align: right;">講師：辻 延浩</p> <p>新学習指導要領が告示され、体育科の目標には、「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して」という言葉が冒頭に付け加えられました。本講習では、「体育や保健の見方・考え方」とは何か、児童自らが課題解決に向けた学習過程をつくるには教師にどのような指導が求められるのか等について、体育領域：「ゴール型ゲーム（cestボール）」、保健領域：「健康な生活（睡眠と健康）」を題材として考えていきます。 ※講義形式と実技形式の講習を実施します。</p>					
<p>テーマ：運動能力・運動センスを高める運動(理論と実技)</p> <p style="text-align: right;">講師：松田 繁樹</p> <p>運動センス(神経)が向上するのは10歳頃までです。この時期までに様々な運動を経験することが重要であり、この時期までの運動経験がその後のスポーツ活動に大きく影響してきます。本講習では、運動能力・運動センスに関する理論を概説し、そして、実際に運動能力・運動センスを高めるための運動をいくつか紹介します。 ※講義形式と実技形式の講習を実施します。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
C-7	小学校理科の観察・実験体験講座 ～物理領域と生物領域～	6時間	教諭	小	30名
<p>テーマ：身近な生き物を対象とした観察や実験</p> <p style="text-align: right;">講師：古橋 潔</p> <p>生物分野の手軽な観察や実験をこの講習で経験していただきます。暑い時期ですが、天候が良ければキャンパス内の生き物を観察し、どのような生き物がいるか調べます。また、観察した植物を採集し、簡単な光合成の実験もします。悪天候時または時間に余裕があれば、酵素の実験も行う予定です。</p>					
<p>テーマ：物理分野に関する簡単な実験</p> <p style="text-align: right;">講師：神山 保</p> <p>理科の中の物理分野に関する簡単な実験を体験していただきます。簡単な実験装置を、受講者一人ひとりか少人数のグループになって作成し、実験の実施と実験結果の分析及び解釈もおこないます。身のまわりの物や現象を物理的な視点で眺めたり、不思議な現象の原因を探る体験を積みまます。</p>					

選択領域 8月6日(月) その3

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
C-8	漢字にしたしむ 一表記の諸相一	6時間	教諭	中・高	30名
<p>テーマ：漢字と仮名 一書くことを考える一</p> <p style="text-align: right;">講師：中村 史朗</p> <p>漢字と仮名を中心に、文字文化や表記の諸相を検討します。まずは漢字の生成に立ち返りその文字としての性格を知り、漢字の各書体の変遷や仮名の成立を概観します。あわせて歴史的にそれらが用いられた日常の実態をさぐり、今日にももつづく書く営みの蓄積を確認します。さらに学校における文字指導、書写指導の課題にも目を向け、次期学習指導要領の内容も踏まえて検討します。</p>					
<p>テーマ：万葉仮名で楽しむ『万葉集』</p> <p style="text-align: right;">講師：井ノ口 史</p> <p>現存する最古の和歌集である『万葉集』には、飛鳥時代から奈良時代に作られた4500首以上もの歌が収められています。それらは平仮名の成立する前の時代に作られたため、例えば「世の中」という言葉を「余能奈可」と書いたり、「世間」と書いたりしました。人々は様々な工夫をこらし、漢字のみで和歌を書き記すことを楽しんでいました。「出」という一文字を表すために「山上復有山」とするクイズのような表記も見られます。講習では、こうした和歌を解説しつつ、『万葉集』の世界を楽しんでいただくことをめざします。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
C-9	幼児教育の原点を学ぶ	6時間	教諭	幼	50名
<p>テーマ：「根っこ」を育む保育・幼児教育の源流</p> <p style="text-align: right;">講師：北後 佐知子(滋賀短期大学)</p> <p>幼児が育つ場所は、「庭園」でなければならないと考えたフレーベルが世界で初めてKinder garden(幼稚園)を創設したのは1840年のことです。それぞれに発展展開しながらも脈々と受け継がれる「根っこを育てる」幼児教育の原点に立ち返り、現在・未来の保育・幼児教育について考えていきます。そこから我々大人にとっての乳幼児期の意味についても考察します。</p>					
<p>テーマ：学びをつなぐ幼小連携について</p> <p style="text-align: right;">講師：久米 央也(滋賀短期大学)</p> <p>小学校教育と幼児教育を比較し、共通する「学び」をつなぐ幼小連携のあり方を考えていきます。そこから見えてくる幼児教育の素晴らしさ、大切にすべきこと、小学校教育を見据えた今後の幼児教育のあり方について改訂幼稚園教育要領をもとに考察していきます。また、小学校入門期の授業について学び、そこからアプローチカリキュラムのあり方、スタートカリキュラムのあり方についても一緒に考えていきましょう。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
C-10	幼児教育の質的向上	6時間	教諭	幼	50名
<p>テーマ：子どもにとっての豊かな感性と表現とは</p> <p style="text-align: right;">講師：平野 知見(京都造形芸術大学)</p> <p>ここ数年で人工知能(AI)やロボット工学という言葉をよく耳にするようになり、世界的にも人工知能が人間の仕事を代替する時代になってきていると言われていています。一方で、近年、国際的に乳幼児の保育・教育への関心が高まっており、特に子どもの感性や表現を豊かにする保育・幼児教育実践が注目されています。この講習では、日本・海外の保育・幼児教育実践に着目し、子どもにとって豊かな感性や表現とは何かを問い、どう育んでいくのか考えていきます。</p>					
<p>テーマ：協同性と思考力の芽生えを育む保育</p> <p style="text-align: right;">講師：田中 裕喜(京都ノートルダム女子大学)</p> <p>新しい幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領の総則には、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が10項目にわたって示されています。これらはこれまでの要領の「ねらい及び内容」の箇所に記されていたことですが、そのうち「協同性」と「思考力の芽生え」については、どのように育んでいけばよいのかが分かりにくいようです。この講習の後半では、このことに関する専門的で実践的な見識を培います。</p>					